

NTT 東日本関東病院にて血液検査や、唾液・鼻咽頭ぬぐい液・喀痰の新型コロナウイルス PCR 検査を受けられた方へ

NTT 東日本関東病院では、昨今の新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大を受け、自動分析装置による鼻咽頭ぬぐい液・唾液・喀痰を用いた新型コロナウイルス抗原検査と、血液を用いた新型コロナウイルス感染症の重症化に関するマーカーの研究を実施しております。研究の詳細は下記の通りです。本研究は NTT 東日本関東病院倫理・医療監査委員会で承認され、NTT 東日本関東病院の病院長の許可を得て実施するものです。この研究は当院で血液検査を受けられた方、あるいは鼻咽頭ぬぐい液・唾液・喀痰を用いて新型コロナウイルスの PCR 検査を実施した方の検査後の残余検体を使用するため、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報をホームページ上で公開します。

【研究内容】 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）抗原検査および新型コロナウイルス感染症の重症化マーカーの検討

【研究機関】 NTT 東日本関東病院・臨床検査部

【研究責任者】 堀内 啓(臨床検査部長)

【研究の目的】 新型コロナウイルスの抗原検査および、新型コロナウイルス感染症の重症化マーカーを測定し、臨床的な有用性、ウイルスの検出感度、PCR 法との一致率等について検討する

【研究の方法】

1. 新型コロナウイルス抗原検査の検討

(1) 対象

新型コロナウイルス核酸検出検査を依頼された方の検査後の残余検体(鼻咽頭ぬぐい液・唾液・喀痰)。

(2) 方法

自動分析装置を用いて新型コロナウイルスの抗原検査を実施し、下記の項目等について検討する。

- ① 検出限界、定量性、同時再現性等の検査法の性能を評価する。
- ② PCR 法と比較し、結果の一致率等について検討する。

2. 新型コロナウイルス感染症の重症化マーカーの検討

(1) 対象

当院において 2020 年 4 月以降、新型コロナウイルス感染症あるいはその他の疾患で採血を実施した方の検査後の残余血清。

(2) 方法

- ① 自動分析装置で残余血清中の IL-6, CCL17(TARC), IFN- λ 3, presepsin を測定し、測定限界、定量範囲、同時再現性等の検査性能を評価する。
- ② 測定値の推移と臨床経過を比較検討し、重症化マーカーとしての有用性を評価する。

【個人情報の保護】 氏名，生年月日，住所，電話番号などの個人を特定できる個人情報は使用しない。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表する際も、個人を特定できる個人情報は使用しない。

***上記研究に検体の利用をご了解頂けない場合は以下にご連絡ください。**

【問い合わせ先】 NTT 東日本関東病院・臨床検査部長 堀内 啓
〒141-8625 品川区東五反田 5-9-22 TEL (03)3448-6111 (代表)